

令和6年度 1年次生 学びのプラン

教科名	国語	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	1年次		
科目名	現代の国語	履修	必履修(共通)	開講	通年		
教科書	高等学校 精選 現代の国語(第一学習社)	副教材	・入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP 2500 三訂版 (いっずな書店)				
1 学習の目標							
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
2 学習の方法							
① 授業について 週2コマ。講義形式・ペアワーク・グループワーク等、適宜実施する。 ② クラスについて HR単位で実施。特別教室を使用することもある。(事前に指示する。) ③ ノートについて 各自用意すること。板書・メモを各自で記録・整理すること。配布されたプリント類を保管しておくためのファイルを用意しておくこと。 ④ 小テストについて 理解の定着を確認するため、適宜実施する。 ⑤ 授業の際に必要な物 教科書・ノート・ファイルを毎時間用意する。副教材については別途指示。PC・タブレット等を授業時に使用する。							
3 評価について							
①評価の観点							
知識・技能		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。					
思考・判断・表現		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。					
主体的に学習に取り組む態度		言葉を通じて積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。					
②評価の方法							
観点	材料	定期 考査	グループ ワーク	小 テスト	課題	ワーク シート	評価方法
知識・技能		○		○	○		単元ごとに身に付ける知識や技能を考査等によって評価する。
思考・判断・表現		○	○	○	○	○	論理的に考える力や伝え合う力等をワークシートやグループワークの活動などで評価する。
主体的に学習に取り組む態度			○	○	○	○	主体的に学習に向かう意欲をワークシートやグループワーク、課題などで評価する。
4 その他							
○ 主体的に学習に向かう姿勢を求めます。「教えられる」ではなく、「学ぶ」よう努めてください。 ○ 「知識」を「活用」して「考える」学習をしてください。							

5 単元の目標・評価										
科目名	現代の国語			オリエンテーション						
単元の目標	「現代の国語」を学ぶ上での注意点や、1年間の見通しを確認し、学習に向かう姿勢や評価方法などを理解し、主体的・意欲的に学ぶ姿勢をもつ。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準							「現代の国語」の学習について概要を理解し、主体的・意欲的に学習に向かおうとしている。			

科目名	現代の国語	グループワークの基礎								
単元の目標	グループワークで学ぶことの意義とより効果的な学習にするための作法を身に付ける。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解することができる。 ((1)ーイ)			目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝える内容を検討することができる。(「A 話すこと・聞くこと」ア)			積極的にグループワークに参加し、その意義を理解するとともに、効果的な学習にしようとしている。			

科目名	現代の国語	単元名	対比の文を読む							
単元の目標	対比構造に注目しながら文章を分析的に読むことができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	言葉には、認識や嗜好を支える働きがあることを理解できる((1)-ア)文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解できる。((1)-オ)主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。((2)-ア)				文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できる。(「C 読むこと」ア)			主体的に文章を読み、対比構造を理解しながら分析的に読もうとするとともに、本文の内容から日本と欧米の文化の違いを考えようとしている。		

科目名	現代の国語	単元名	対比の文を読み、分析的にまとめる							
単元の目標	複数の文章を読み、文の構造に着目しながら分析的にまとめることができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解できる。((1)-オ) 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができる。((3)-ア)				目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりできる。(「B 書くこと」エ)			主体的に複数の文章を読み、文章の構造に着目しながら分析したり、まとめようとしている。		

科目名	現代の国語	単元名	文章を分析的に読み、要約の作法を学ぶ							
単元の目標	文章要約のために必要な文章分析の作法を身に付け、要約文を書くことができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	常用漢字の読みになれ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる((1)-ウ) 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。((1)-エ)			目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。((B 書くこと)エ)			主体的に文章要約に必要な作法を身に付けようとし、要約文を書こうとしている。			

科目名	現代の国語	単元名	「具体」と「抽象」に注目して読む							
単元の目標	文章における「具体」と「抽象」について理解しながら読解することができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。((1)-オ) 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。((2)-イ)			文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 (「C 読むこと」ア)			主体的に「具体」と「抽象」の関係や、「具体化」「一般化」について理解するとともに、本文における「時間」の在り方について考えを深めようとしている。			

科目名	現代の国語	単元名	主張と根拠・反論							
単元の目標	根拠をもって自らの意見・主張を述べることができるとともに、反論を想定しながら意見交換することができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	主張と論拠など情報と情報との関係について理解できる。((2)-ア) 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。((2)-エ)			自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。 (「A 話すこと・聞くこと」イ)			聞き手のことを意識しながら自らの意見を論理的に説明しようとするとともに、他者の意見や反論を想定して積極的な話合いをしようとしている。			

科目名	現代の国語 単元名 論理的な文章を書く									
単元の目標	自らの論を他者に明確に伝えるために、論理的な文章を書くことができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	推論の仕方を理解し使うことができる。((2)-ウ) 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。((2)-オ)			目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 (「B 書くこと」ア)			論理的に自らの意見・考えを持つことができ、主体的に論理的な文章を書こうとしている。			

科目名	現代の国語 単元名 文章における「因果関係」と「言い換え」を読み解く									
単元の目標	文章における「因果関係」と「言い換え」について理解することができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。((1)-オ) 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。((1)-カ)			目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。((C 読むこと)イ)			主体的に文章における「因果関係」と「言い換え」について理解しようとしている。			

科目名	現代の国語 単元名 具体例を適切に用い、他者に伝える									
単元の目標	具体例を適切に用い、自らの主張を他者に明確に伝えることができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。((1)-イ) 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。((2)-オ)			話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。((A 話すこと・聞くこと)ウ)			自らの主張を他者に明確に伝えるために適切な具体例を考えようとし、主体的に伝え合おうとしている。			

科目名	現代の国語 単元名 資料(非言語テキストを含む)の読解									
単元の目標	資料(非言語テキストを含む)を読み解き、必要な情報を整理して文章化することができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。((1)-エ) 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。((2)-エ)			読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること((読むこと)イ)			主体的に情報を読み取り、必要な情報を整理して文章にしようとしている。			

科目名	現代の国語 単元名 文章を的確に読み解き、適切に要約する									
単元の目標	文中の重要箇所を把握し、段落ごとの要約から、全体要約ができる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。((1)-オ) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。((2)-ア)			目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。((B 書くこと)エ)			主体的に文章中の重要箇所を読みとり、整理しようとし、全体要約ができるようにしている。			

科目名	現代の国語	単元名	ことばや文の関係を意識した読み
単元の目標	既習の読解方法を活用しながら、本文を読み解くことができる。		
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力 創造力 計画力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。((1)-オ) 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。((1)-カ)	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。((1)-イ)	主体的に既習の学習方法を活用して読解しようとするとともに、本文における「科学」の在り方を自分事としてとらえ、考えを深めようとしている。

科目名	現代の国語	単元名	「論理の型」を学ぶ
単元の目標	「事実と意見」「推論」を学び、学んだ型を使用して文章を書くことができる。		
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力 創造力 計画力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること((2)-ア) 推論の仕方を理解し使うこと((2)-ウ)	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫できる。((2)-イ) 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。((2)-イ)	書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価しようとしている。 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。

科目名	現代の国語	単元名	複数の文章・資料を読み解き、自らの意見・主張を書く
単元の目標	複数の文章・資料を読み、適切な根拠を示しながら、自らの意見・主張を書くことができる。		
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力 創造力 計画力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。((2)-エ) 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。((2)-オ)	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。((2)-イ)	主体的に複数の資料を読み解き、自らの意見の根拠として活用しようとしている。

科目名	現代の国語	単元名	作成した意見文等の相互評価
単元の目標	作成した意見文について、互いに評価し合い、再構成することで考えを深めることができる。		
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力 創造力 計画力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	推論の仕方を理解し使うことができる。((2)-ウ) 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。((2)-エ)	論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。((2)-イ)	主体的に相互の文章について意見交換し、再構成する中で自らの文章を磨き、考えを深めようとしている。

科目名	現代の国語	単元名	実用的な文章についての考察
単元の目標	実用的な文章を読み、特徴や改善点、要点の整理などについて話し合うことができる。		
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力 創造力 計画力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。((1)-エ)	論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。((1)-オ)	主体的に実用的な文章について読み解き、意見を整理したり、話し合いの中での結論をまとめたりしようとしている。

6		年間計画											
学期	月	単元		項目	予定時数	考査	テスト						
前期	4	国語を学ぶために	グループワークの基礎	・グループワークのルールと意義の理解 ・効果的なグループワークについての考察	4	前期 中間 考査	校内 実力 テスト①						
		「人間と文化」 (評論①「対比」)	対比の文を読む (山崎正和「水の東西」)	・「二項対立」「対比」「具体化」「指示語」に着目した読解	4								
	5	要約①	対比の文を読み、分析的にまとめる	・複数の文章を読み、対比を理解し、文を整理	4								
			文章を分析的に読み、要約の作法を学ぶ	・要約に必要な文章分析 ・要約文を書く	4								
	6	「社会と人間」 (評論② 具体と抽象)	「具体」と「抽象」に注目して読む (内山節「不均等な時間」)	・「具体抽象」「対比」「具体化」「指示語」「接続詞」に注目して読解 ・譲歩逆接構文の理解	6	前期 期末 考査・ 後期 中間 考査	校内 実力 テスト②						
			主張と根拠・反論	・根拠をもとにした主張をもとに話合う ・反論を想定した主張の考察	4								
	7		論理的な文章を書く	・論理性をもった文章構造についての理解 ・他者に明確に伝えるための文についての理解	4								
	8	「科学と人間」 (評論③「因果関係」「換言」)	文章における「因果関係」と「言い換え」を読み解く (柳澤桂子「生と死が創るもの」)	・「具体抽象」「因果関係」「言い換え」「指示語」「接続詞」に着目した読解	4								
	9		具体例を適切に用い、他者に伝える	・適切に具体例を用いながら、他者に伝えるように話し合いの実践	4								
資料(非言語テキストを含む)の読解			・様々な資料を読み解き、自身の論の根拠として活用できるようにする。	6									
後期	10	要約②	文章を的確に読み解き、適切に要約する	・文章中における重要語句に注目した読解 ・段落ごとの要約、全体の要約の実践	4	後期 期末 考査	校内 実力 テスト③						
	11	「科学と人間」② (評論④)	ことばや文の関係を意識した読み (池内了「『文化』としての科学」)	・既習の読解方法を活用し、読解の実践 ・「二項対立」「対比」「因果関係」「指示語」「具体化」を意識した読解	4								
		評論⑤「事実と意見」「推論」	「論理の型」を学ぶ	・「事実と意見」を学ぶ ・「推論」を学ぶ ・学んだ論理の型を使い、文章を書く	4								
	12	複数資料の読解と 文章作成・評価	複数の文章・資料を読み解き、自らの意見・主張を書く	・主張の根拠となる資料の読解・分析 ・明確な根拠をもった意見文の作成	6								
			作成した意見文等の相互評価	・意見文を他者の文章と比較、相互評価 ・評価を踏まえて、自己の文章を振り返り、再構成する	4								
	2	実用的な文章	実用的な文章についての考察	・実用的な文章について、書き方の特徴や工夫などを考察 ・実用的な文章の作成	4								
	3												